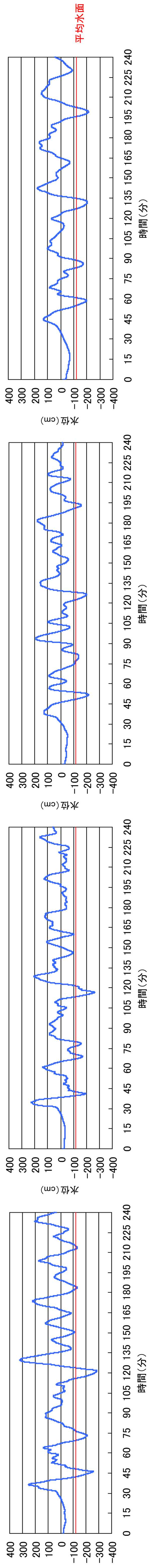
鳥羽港付近 津波防災情報図（進入図）

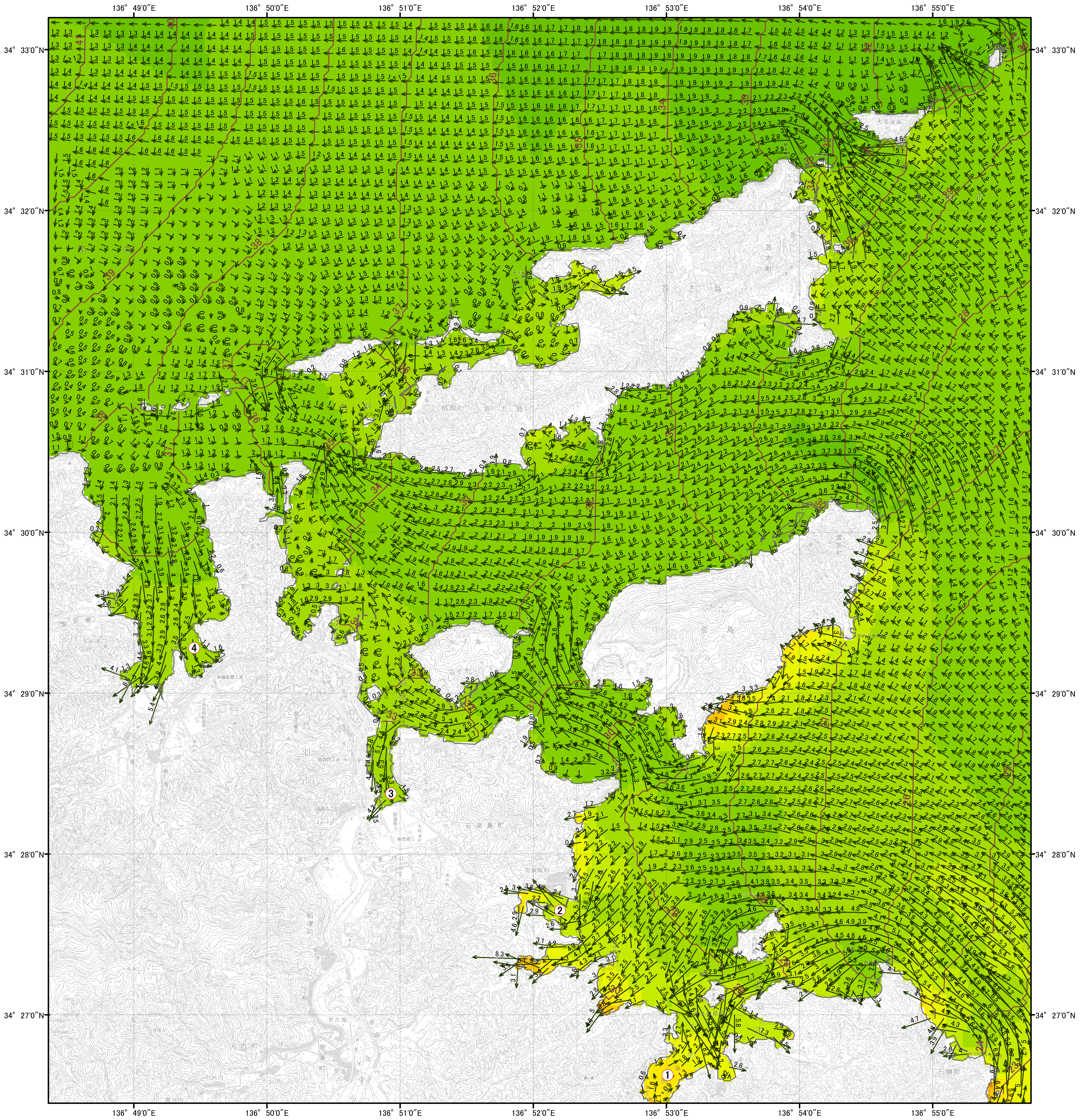
計算条件：最高水面

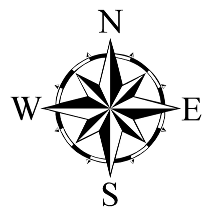
隆起量：平均 -40cm（-60cm ～ -16cm）

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。







1:30,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）

凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

経時変化図出力点

最大水位上昇

- 400～最大410cm
- 350～400cm
- 300～350cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm

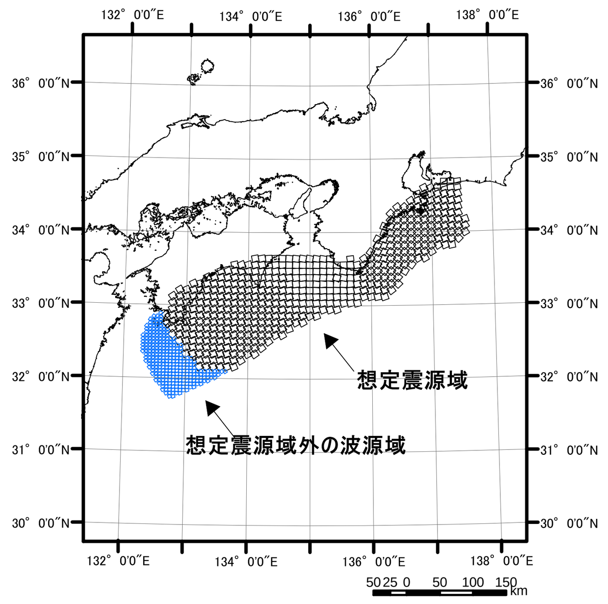
進入時最大流〔knot〕

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

・津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を算出している。

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と波源域の位置



マクロ的に見たパラメータ	南海地震	東南海地震
断層面積 S(km^2)	約 36,500	約 14,500
地震モーメント Mo (N·m)	8.34×10^{21}	2.15×10^{21}
平均すべり量 D (m)	5.70	3.63
モーメントマグニチュード Mw	8.55	8.15

・本図は、中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」で公表された断層モデル及び断層パラメータを使用した。

・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データを使用した。
・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号　平１５総複、第６７３号）
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用したものである。
（承認番号　平１５総使、第６７２号）

0　250　500　1,000　1,500　2,000 m

作成機関　：海上保安庁
作成年月　：平成１６年　3月（初版）